

ぐるり・富士山風景街道 アクションネットワーク設立趣意書

ぐるり・富士山風景街道は、富士山を取り巻く、国道138号、139号、469号の道を軸に地域住民、自治体、道路管理者などの協働により、地域が主体となって、自然景観の保護や美化活動、地域資源の発掘、歴史・文化・自然の学習、魅力的な観光空間づくり、まちづくりや情報発信などに取り組み、静岡・山梨両県に誇る富士山麓地域の地域活性化、地域振興を実現しようという活動です。

平成17年度から、国土交通省道路局の新規施策として、「日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)」がスタートしました。この施策を推進する地域が全国で公募されるなか、本地域で“^{ぐるり}環富士山風景街道”を応募してきました。

日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)とは、これまで単にモノ・人を運ぶ機能の“道具”として整備された日本の道路を、地域固有の景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源などを有効に活用し、美しく味わいのある道空間づくりを地域が主体となって進める国の新しい道路施策です。

この風景街道のために別に新しく活動を立ち上げるのではなく、これまで個々に実施してきたそれぞれの活動を道で繋ぎ、“ぐるり・富士山風景街道”のもとに連携することにより、全体として活動をより充実させ、新たな価値を見いだすことをそのねらいとしています。

「ぐるり・富士山風景街道アクションネットワーク」は、主体となる地域の住民やNPO等の活動団体のネットワーク組織をイメージしています。各地域で活動する団体が活動についての情報を共有し、さらには連携、協働することにより、ぐるり・富士山風景街道が目指す富士山麓の風景をつくる新しい動きになり、住む人にとっても、訪れる人にとっても魅力的な富士山麓にしていくことを目的に設立するものです。